

2008年3月11日

株式会社みずほ銀行  
みずほキャピタル株式会社

### 「みずほキャピタル第3号投資事業有限責任組合」の設立について

みずほフィナンシャルグループにおけるベンチャーキャピタル業務を担うみずほキャピタルは、この度、主に国内の成長性の高い企業への投資を行う「みずほキャピタル第3号投資事業有限責任組合」（以下「本ファンド」）を設立いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 本ファンド設立の経緯・目的

みずほキャピタルは、みずほ銀行が中心となって新規株式公開（IPO）を目指すベンチャー企業・中堅中小企業のお客さまの支援を行う「IPO 推進プロジェクト」に、みずほフィナンシャルグループ各社とともに取り組み、「IPOのみずほ」のブランドイメージ確立を目指して、現在、お客さまのIPO実現に向けた様々なサービスの提供を行っております。

「IPO 推進プロジェクト」の下、みずほフィナンシャルグループのエクイティ投資業務におけるコアプレーヤーとして、投資活動及び公開のための各種支援活動を積極的に行った結果、年間投資社数は延べ160社、年間投資金額で74億円にのぼり（いずれも2007年実績）、また国内新規公開累計社数は701社（2007年12月末現在）となるなど、業界トップクラスの実績を上げております。また、本年2月には、ビジネスマッチングを目的とする交流会（投資先等160社ご出席）を開催するなど、お客さまの企業価値向上（＝バリューアップ）に向けた取り組みにも注力しております。

今回、2005年3月に設立した「みずほキャピタル第2号投資事業有限責任組合」（出資金総額186億円）の後継ファンドとして、本ファンド（出資金総額220億円）を設立いたしました。本ファンドによる投資を通じて、IT・バイオ・ナノテクノロジー・環境関連等の最先端技術や革新的なビジネスモデルを有するベンチャー企業、成長意欲に溢れる中堅中小企業のお客さまの旺盛かつ健全な資金ニーズに積極的に応えてまいります。

みずほキャピタルは、今後も、本ファンドの活用等を通じ、みずほフィナンシャルグループの総合力を発揮しつつ、お客さまの更なる成長と企業価値向上に貢献するべく全力で取り組んでまいります。

#### 2. 本ファンドの概要

名称	みずほキャピタル第3号投資事業有限責任組合
運営者（無限責任組合員）	みずほキャピタル株式会社
出資金総額	220億円
組合出資者	みずほ銀行、みずほコーポレート銀行、みずほインベスターズ証券、みずほ信託銀行及び国内事業法人（みずほキャピタルを含む）
投資対象	主に国内のベンチャー企業、中堅中小企業等が発行する有価証券
運用方針	業種・投資ステージ等を分散させたバランス型ポートフォリオ運営
組合設立日	2008年3月11日
組合存続期限	2017年12月31日

以上